

2023 年度祥明大學校短期研修報告

総合管理学部 2 年 長尾悠生

今回、9月14日から21日まで8日間の間、コロナ禍の制限が緩和されてからは初めて、韓国・祥明大學校での短期研修に参加させていただきました。

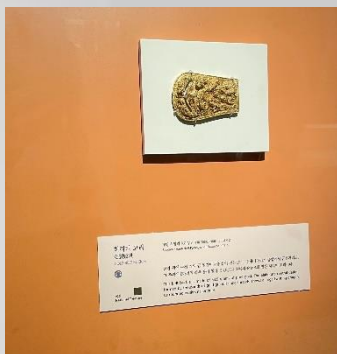
今回の研修を通して最も心に残っていることは、サポートしていただいた韓国の方々の温かさ・そして私がそれまで持っていたボランティアに対する大きな意識の変化でした。この研修に参加したきっかけは、大学を卒業するまでに価値観を広げたかったこと・今の韓国語の実力を知りたかったこと・今年の6月下旬に



祥明大學校の学生の方たちと交流したことで韓国についてさらに知りたいと思ったことからでした。私は海外に行くこと自体が初めてだったので最初は緊張していましたが、この1週間があっという間に感じるほど充実した経験をすることができました。ここでは、1週間体験したことに触れながら、自分が学んだことや心の変化を中心に述べていきたいと思います。

まず、1週間の体験を、写真を交えながら紹介したいと思います。私はホームステイではなく、祥明大學校天安キャンパスの寮やソウルキャンパスのゲストハウスに滞在していました。その間、学校で韓国語の授業を受けたり、景福宮や弘大観光、博物館見学、漢江散策やロッテワールドなど様々な場所に行きながら、祥明大學校の学生の方との会話の中で韓国の文化や食生活、生活習慣など多くのことを学びました。

その中でも、ソウルにある国立中央博物館では韓国の文化史についても学ぶことができました。時間の関係上3つの展示しか見ることができませんでしたが、自身の勉強不足を身に染みて感じたため、韓国・日本どちらの歴史についても学んで、また見学したいと思いました。



↳허리띠 고리



↳백제금동대향로

私は少し韓国語が理解できたこともあり、多くの人とコミュニケーションを取ることができましたが、祥明大學校の学生の方々が流暢に日本語を話す場面に助けられたことも多くありました。また、日本の文化について聞かれることもあり、日本文化の良さを再発見できる機会にもなりました。祥明大學校の学生の方々は、言語を単なる“机上の学び”に留めず、実際に使えるまで勉強していたため、することが大切だと学びました。

元々は kpop が好きで始めた韓国語の学習でしたが、研修生活を通して、実際に祥明大學校の学生の方々と意思疎通できるようになりたいからという想いに変って変わっていききました。

さらに、日本語に通訳してもらう間接的な会話よりも直接的な会話をすることで心の距離も縮まり、言葉によって互いの気持ちを通じ合える喜びを実感でき、外国語を学ぶことの意義についても考えるようになりました。

また、食べ物については、私が辛いものが得意でないこともあり気を使ってもらう場面もありましたが、徐々に辛さに慣れてある程度食べられるようにもなりました。研修中は祥明大学校の学生の方々と大勢で食べることが多かったため食事の際も楽しく過ごすことができました。



歓迎会で食べたサムギョプサル



私は一番右のエゴマ油のまぜそばを食べました。



チョッパルとボッサム

送別会では感想を言うときに自分の感情を抑えきれずに涙が出てしまう場面もあり、この1週間がどれほど大切な思い出で、自分にとって最大の財産になりうるかを感じました。

さらに、分からない韓国語が出てくると自分で調べたり、聞いたりしてメモを取りながら学ぶ姿勢も以前より身につきました。

そして、ボランティアに対する意識の変化が自分の中で1番の学びにつながりました。ソウルで行動する際に手伝ってくれた学生の中で、ソウルにある友達の家泊まりながら私達をサポートしてくれたこと・大雨の中、写真や言葉では表現できないような坂を、キャリーケースを持って運んでくれたこと・授業もある中連続でサポートしてくれたこと・出発の日は朝3時半に寮を出なければならなかったにも関わらず、夜一緒に話してくれてお見送りにまで来てくれたり、飛行場まで見送りに来てくれたこと...

今までの、与えられた役割に沿って自分ができる範囲のボランティアをしていた自分のことをすごく恥ずかしく思うとともに、私たちが楽しくて幸せな思い出を作っている中にはたくさんのサポートのおかげで成り立ったことがとても多くあることをひしひしと感じました。

こうして振り返ってみると、普段学生生活を送る中ではできないような貴重な経験を沢山させていただいたのだということを切に感じる研修生活でした。数えきれないほど多くの方に出会い、その度に歓迎していただいたことが強く印象に残っています。これからも交流を続けたいと思う方にも複数出会うことができ、「ありがとう」という感謝の気持ちだけでは足りなくらいサポートしていただきました。ここで学んだことや感じた気持ちを忘れずに、内に留めておくだけでなく自分から発信できるような人に、自分で考えて率先して行動できるような人になりたいです。

最後に、祥明大学の学生や先生方、県立大学の研修団の皆さん、国際教育交流センターの方々や両親など、この機会を与えて頂いた全ての皆様に感謝の気持ちを申し上げます。

